

「微分積分」 5.6～5.10節 正誤表 (2021年1月15日)

第2刷までの正誤表

頁	場所	誤	正
p.193	例題 5.13 解の 6 行目	$(0 < x < \pi, 0 < y < \pi)$	$(0 < x < 2\pi, 0 < y < 2\pi, 0 < x + y < 2\pi)$
p.193	例題 5.13 解の 7 行目	$2S$ の極大値は例題 5.11(2) より, $x = y = \frac{2\pi}{3}$ のとき, $2S = \frac{3\sqrt{3}}{2}$ である.	例題 5.11(2) と同様の計算により, $2S$ の停留点は $x = y$ または $x + y = 2\pi$ を満たす. 定義域を考慮すると $(x, y) = (\frac{2\pi}{3}, \frac{2\pi}{3})$ が停留点となり, 極大値 $2S = \frac{3\sqrt{3}}{2}$ をとる.

第5刷のみの正誤表

頁	場所	誤	正
p.264	問 5.12 解答 (1)	$\sqrt{5}$	$\frac{3\sqrt{6}}{4}$